

住職の佛教史

(中断してました又続けます)

鎌倉佛教

やっと今回から国家佛教(僧は国家公務員であり仕事は佛教を通して国家の安泰を祈ること)から鎌倉佛教象生救済の宗教へと進みます

鎌倉佛教といわれる宗派は次の四類に分けられる

- 一、空也—良忍—一遍の念佛聖系
- 二、法然—親鸞の念佛行のみ選択系
- 三、荣西—道元の經典より坐禅を重視系
- 四、日蓮 法華經が釈尊の唯一の教え系

まず阿弥陀佛を信仰対象とする浄土の教えの流れから入りませう

(空也、良忍は平安時代末期の僧ですが思想がこうして鎌倉佛教の窓口としてとらえています)

平安時代末期武士の進出によって貴族の支配は衰え佛教界は混乱そのうえ大凶作が起き飢饉疫病が流行末法思想(釈尊の死後五〇〇年毎に法が正しく伝わる正法、信仰が型式的に伝わる像法)佛教がすたれ切った時代末法)が広がり一〇五三年が末法第一年(鎌倉成立一〇三三年)とされ民衆は恐れおののいた民衆を救うという僧が出た。以下次回

住職の佛教史

(中断しておりました。又、続けます。)

鎌倉佛教

やっと今回から国家佛教

(僧は、国家公務員であり、

仕事は佛教を通して国家の安泰を祈ること。) から、
鎌倉佛教衆生救済の宗教へと進みます。

鎌倉佛教といわれる宗派は、次の四類に分けられる。

- 一 空也―良忍―一遍の念佛聖系
- 二 法然―親鸞の念佛行のみ選択系
- 三 栄西―道元の経典より座禅を重視系
- 四 日蓮 法華経が釈尊の唯一教系

まず、阿彌陀佛あみだを信仰対象とする

浄土の教への流れから入ります。

(空也・良忍は、平安時代末期の僧ですが、
思想からみて鎌倉佛教の窓口としてとらえています。)

平安時代末期、

武士の進出によって貴族の支配は衰え、佛教界は混乱。

その上、大凶作が起き、飢饉疫病が流行。

末法思想(釈尊の死後、五百年毎に法が正しく伝わる正法、
信仰が型式的に伝わる像法、佛教がすたれ切った時代、末法)が広がり、

一〇五二年が、末法第一年(鎌倉成立一一九二年)とされ、
民衆は、恐れおののいた。

そこに民衆を救うという僧が出た。

以下、次回。